

# III 業績



## 1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告（Web版）に掲載した事項

発表年月	内 容	掲 載 箇 所	提 供 者 名	所 属
R 5. 7	神戸市立須磨海浜水族園企画展におけるアンケート調査をもとにした魚食普及および豊かな海づくり活動推進方法の検討	兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 6, 6-16	中桐 栄・梶原慧太郎	水産環境部、 水産増殖部

## 2 外部に発表した事項

### (1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
R 5. 5	Seasonal copepod dynamics and biomass in Harima-Nada, eastern Seto Inland Sea, Japan	Fisheries Science 89 (3), 343-356	西川哲也・渡辺 剛・塩谷 剛・泉 周作・古澤一思・田所和明	水産環境部ほか
R 5.10	Behavioral study of black sea bream <i>Acanthopagrus schlegelii</i> by acoustic telemetry to guide countermeasures against feeding damage to cultivated nori <i>Neopyropia yezoensis</i> off Kobe, Hyogo, Japan	Fisheries Science 89, 785-799	高倉良太・谷田圭亮・稲崎 彩・光永 靖	水産増殖部ほか
R 5.11	Cryptic biodiversity in the commercial diamondback squid <i>Thysanoteuthis rhombus</i> Troschel 1857	Reviews in Fish Biology and Fisheries 34, 293-313	Diego Deville・森 創太・河合賢太郎・Alejandro Escáñez・Armando Macali・Fedor Lishchenko・Heather Braid・Jean Githaiga-Mwicigi・Kolliyil S. Mohamed・Kathrin S. R. Bolstad・宮原一隆・杉本親要・Fernando Á. Fernández-Álvarez・Gustavo Sanchez	水産環境部ほか
R 5.11	Method for obtaining reliable R-waves in fish electrocardiograms by utilizing conductivity of seawater	Scientific Reports 13(1), 20994	渡部奈月・鳥澤眞介・光永 靖・有馬正和・宮原一隆・才木常正	水産環境部ほか
R 6. 2	Onset of estivation in western sand lance <i>Ammodytes japonicus</i> is not solely triggered by elevating water temperature	Journal of Ethology 42, 131-135	日比野静葉・阿見彌典子・仲野菜夕・高倉良太・天野勝文・吉永龍起	水産増殖部ほか
R 6. 3	ワカメにおける系統の異なる配偶体に由来する孢子体の生長・形態比較	藻類 72(1), 1-9	梶原慧太郎・二羽恭介	水産増殖部ほか

### (2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
R 5. 9	瀬戸内海東部播磨灘におけるカイアシ類ノープリウス幼生出現密度の季節変動	2023年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会	西川哲也・渡辺 剛・田所和明	水産環境部ほか
R 5. 9	瀬戸内海東部のイカナゴに及ぼすトップダウン効果の検証	令和5年度日本水産学会秋季大会	谷口 碧・米田道夫・西川哲也・中村政裕・森岡泰三・富山 毅	水産環境部ほか

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
R 5. 9	但馬沖ホタルイカ漁場における物理環境の変動特性	2023 年度日本海洋学会秋季大会	岡田優暉斗・兼田淳史・大谷徹也・渡慶次力・爲國翔太	但馬水技ほか
R 5. 11	瀬戸内海 東部海域における <i>Calanus sinicus</i> の分布特性	2023 年度水産海洋学会研究発表大会	西川哲也・高砂 敬・吉田 誠・上田拓史	水産環境部ほか
R 5. 11	但馬沖ホタルイカ漁場の海況と漁場形成の関係（ポスター発表）	2023 年度水産海洋学会研究発表大会	兼田淳史・岡田優暉斗・大谷徹也・渡慶次力・爲國翔太	但馬水技ほか
R 5. 11	The effect of light intensity for the growth, vertical distribution and photosynthesis of <i>Karenia mikimotoi</i>	The 20th International Conference on Harmful Algae	肥後翔太・小池一彦	水産環境部ほか
R 5. 12	播磨灘海域におけるスタレガイの漁獲実態と生物情報	令和5年度日本水産学会近畿支部後期例会	堀部倭子・渡部哲也・高田良二・小林靖尚	水産環境部ほか
R 5. 12	金属板による養殖ノリへの食害防除効果の検証	令和5年度日本水産学会近畿支部後期例会	梶原慧太郎・高倉良太・谷田圭亮・兼田敏信	水産増殖部ほか
R 6. 3	養殖海苔色落ち原因珪藻の大量発生機構と植物プランクトン群集の長期変動に関する研究	令和6年度日本水産学会春季大会	西川哲也	水産環境部
R 6. 3	ノリ養殖場におけるクロダイの詳細な位置情報	令和6年度日本水産学会春季大会	高倉良太・吉川智典・光永 靖	水産増殖部ほか

### (3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 10	兵庫県内海における 2022 年および 2023 年の漁況	第 54 回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議報告	西川哲也	水産環境部
R 5. 12	定線観測データからみた兵庫県但馬沿岸における冷水の勢力	日本海ブロック資源評価担当者会議報告(令和5年)	鈴木雅巳	但馬水技
R 5. 12	兵庫県但馬沖におけるベニズワイガニの漁獲と若齢個体の出現動向について	日本海ブロック資源評価担当者会議報告(令和5年)	大谷徹也	但馬水技
R 6. 3	有害赤潮プランクトンの出現動態監視及び予察技術開発並びに赤潮の発生段階に応じた一連の対策(行動計画)の検討・策定 瀬戸内海東部海域	令和5年度豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業(1)赤潮等による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化報告書	秋山 諭・辻村裕紀・近藤 健・山本圭吾・妹背秀和・肥後翔太・宮原一隆・高木秀蔵・乾 元気・角田成美・石黒貴裕・朝田健斗・岡本裕太・棚田教生・池脇義弘・小川健太・松下悠介・中谷祐介・三宅陽一・坂本節子	水産環境部ほか
R 6. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック令和5年度浅海定線観測等担当者会議議事録(抄)	肥後翔太 他 30 名	水産環境部ほか
R 6. 3	兵庫県海域(播磨灘)	瀬戸内海ブロック浅海定線調査観測 50 年成果集	肥後翔太 他 12 名	水産環境部ほか
R 6. 3	兵庫県におけるノリ養殖等の概況および試験研究項目	令和5年度瀬戸内海ブロック水産業関係試験研究推進会議藻類情報交換会資料集	高倉良太・岡本繁好	水産増殖部、水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 6. 3	食害魚の生態特性の解明と効率的な漁獲・防護技術の開発 食害魚の行動特性を利用した防除技術の開発	令和5年度養殖業成長産業化技術開発事業(4)地球温暖化に適応したノリ養殖技術の開発報告書	高倉良太・谷田圭亮・梶原慧太郎・光永 靖	水産増殖部ほか
R 6. 3	有害赤潮プランクトンの出現動態監視及び予察技術開発並びに赤潮の発生段階に応じた一連の対策(行動計画)の検討・策定 日本海西部海域	令和5年度豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業(1)赤潮等による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化報告書	鈴木雅巳・福本一彦・前田啓助・清川智之・古谷尚大・井口隆暉・白木信彦・鬼塚 剛・坂本節子	但馬水技ほか

#### (4) 研究会(大会・研究会)等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 4	兵庫県におけるイカナゴの現状と課題(その2)	イカナゴ資源を考える座談会(兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会)	西川哲也	水産環境部
R 5. 4	兵庫県におけるイカナゴの現状と課題(その1)	イカナゴ資源を考える座談会(兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会)	魚住香織	水産環境部
R 5. 4	令和4年度のサワラ漁獲状況について	令和4年度西播さわらはなつぎ網漁業同業会	堀部倭子	水産環境部
R 5. 4	内水面漁業センターにおける令和4年度の研究結果と令和5年度の計画	内水面管理委員会	安信秀樹	内水面
R 5. 5	ズワイガニ保護育成礁のしみ出し効果について	2023年度日本水産工学会学術講演会	三浦 浩・伊藤 靖・田村一樹・猪狩勝一郎・梅津啓史・鈴木航	但馬水技ほか
R 5. 6	水産技術センターの概要について	大輪田塾(水産振興基金)	中桐 栄	水産環境部
R 5. 6	兵庫県におけるイカナゴの現状と課題～イカナゴ資源調査から～	大輪田塾	魚住香織	水産環境部
R 5. 6	兵庫県の「マガキ養殖」ー現状と今後ー	赤穂高校出張講義	谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 7	兵庫県におけるイカナゴの現状と課題～イカナゴ資源調査から～	明るい水産業を創る会	魚住香織	水産環境部
R 5. 7	須磨海岸実習(プランクトン採集、砕波帯ネットによる生物採集、採集物の観察)	地域課題ワークショップ(高校生サミット)	肥後翔太・妹背秀和	水産環境部
R 5. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	令和5年度ズワイガニ研究協議会	田村一樹	但馬水技
R 5. 7	ベニズワイガニの活ガニ出荷に向けた試験(ベニズワイガニの高付加価値化技術開発試験(R1~R3))	香住港小型ベニガニ組合	中村 匠	但馬水技
R 5. 7	カニかご用代替餌料の検討(ホタルイカ、ツノナシオキアミ)(資料配布のみ)	香住港小型ベニガニ組合	大谷徹也	但馬水技
R 5. 7	2022年度漁期 ベニズワイガニ資源調査結果と資源管理の方向性	香住港小型ベニガニ組合	岸本早貴	但馬水技
R 5. 8	兵庫県におけるイカナゴ資源の現状について～イカナゴ資源調査から～	摂津播磨地区漁青連	魚住香織	水産環境部
R 5. 8	2023年漁期兵庫県イカナゴ漁について	水産資源調査・評価推進事業(イカナゴ瀬戸内海東部系群)に係る令和5年度第1回情報交換会	魚住香織	水産環境部
R 5. 8	兵庫県瀬戸内海の豊かな海づくりの現状と課題	コープこうべ 朝霧コープ委員会	平石靖人	水産環境部
R 5. 8	兵庫県水産業の現状と課題	神戸情報大学大学院	平石靖人	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 8	昨年度の種苗生産結果と今年度の対応	南あわじ漁協ワカメ種苗生産技術研修会	岡本繁好	水産環境部
R 5. 8	海苔の食害研究について～他地域の状況と本県での取り組み～	2023 年のり養殖技術研修会	高倉良太	水産増殖部
R 5. 8	兵庫県におけるノリの食害研究について	令和5年度ノリ養殖における食害に関する情報交換会	高倉良太	水産増殖部
R 5. 8	昨年度の食害調査結果と今年度の対応	南あわじ漁協ワカメ種苗生産技術研修会	梶原慧太郎	水産増殖部
R 5. 8	兵庫県における無給餌養殖とその課題	日本技術士会近畿本部関西食品技術士センター例会	谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 8	ホッコクアカエビの漁獲実態・資源状況	令和5年度底びき漁期前調査結果説明会	田村一樹	但馬水技
R 5. 8	令和5年度底びき漁期前調査結果	令和5年度底びき漁期前調査結果説明会	大谷徹也・岸本早貴	但馬水技
R 5. 9	魚類防疫地域合同検討会情報	瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	増田恵一	水産増殖部
R 5. 9	兵庫県沿岸における台風通過時の流況	日本海周辺海域における環境急変現象（急潮）のメカニズム解明および防災に関する研究集会	鈴木雅巳	但馬水技
R 5.10	ちりめんモンスターを探そう！	加古川市農林漁業祭（加古川市）	中桐 栄	水産環境部
R 5.10	気象・海況の変化と兵庫県の漁業生産～ノリ・カキ養殖の現状と問題点～	地球温暖化対策・気候変動適応フォーラム 2023	谷田圭亮	水産増殖部
R 5.10	兵庫県におけるキジハタ種苗生産親魚のVNN保有検査について	西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	増田恵一	水産増殖部
R 5.10	令和5年度ズワイガニ資源の状況について	令和5年度観光事業者と漁業者の意見交換会	田村一樹	但馬水技
R 5.10	試験研究の現場から見た水産加工の基礎と応用	公益社団法人 日本技術士会近畿本部農林水産部会	中村 匠	但馬水技
R 5.11	瀬戸内海におけるカイアシ類調査の重要性	令和5年度瀬戸内海水産環境研究集会	西川哲也	水産環境部
R 5.11	兵庫県におけるイカナゴ資源の現状について	イカナゴ漁に関する協議会	魚住香織・西川哲也	水産環境部
R 5.11	2023 年度のイカナゴ夏眠状況について	水産資源調査・評価推進事業（イカナゴ瀬戸内海東部系群）に係る令和5年度第2回情報交換会	魚住香織	水産環境部
R 5.11	兵庫県瀬戸内海の豊かな海づくりの現状と課題	日本技術士会兵庫県支部	平石靖人	水産環境部
R 5.11	豊かな海づくりに向けた取り組みについて 温暖化時代におけるノリ養殖への挑戦	瀬戸内海環境保全協会	平石靖人	水産環境部
R 5.11	令和5年度ノリ食害に関する研究	神戸市のり協議会 令和5年度海苔養殖漁期前講習会	高倉良太	水産増殖部
R 5.11	令和5年度漁期に向けての養殖管理	神戸市のり協議会 令和5年度海苔養殖漁期前講習会	谷田圭亮	水産増殖部
R 5.12	兵庫県におけるイカナゴ資源の現状について	播磨灘船曳網漁業連合会 正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織・西川哲也	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5.12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	令和5年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会	妹背秀和	水産環境部
R 6. 1	今漁期のイカナゴ親魚調査結果について	鹿之瀬会理事会	魚住香織・西川哲也	水産環境部
R 6. 1	R5 年度ノリ漁期における <i>Eucampia zodiacus</i> の発生予測とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	妹背秀和	水産環境部
R 6. 1	2023 年の播磨灘の漁場環境	養殖ノリ色落ち中期予測等情報交換会	肥後翔太	水産環境部
R 6. 1	播磨灘で大量発生したスダレガイ属二枚貝の利用拡大に向けた漁業生物学的情報の収集と情報提供	一宮町漁業協同組合	堀部倭子	水産環境部
R 6. 1	食害調査について	養殖ノリ色落ち中期予測等情報交換会	高倉良太	水産増殖部
R 6. 2	今後の資源管理の概要	大阪府漁青連・兵庫県漁青連交流会	中桐 栄	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	西川哲也	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ漁について	播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	西川哲也	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	JF 明石浦イカナゴ親魚(ふるせ) 操業協議会	魚住香織・西川哲也	水産環境部
R 6. 2	明石浦漁協小型底びき網におけるイカナゴの資源管理の考え方	鹿之瀬会理事会	魚住香織・西川哲也	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	令和6年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	令和6年漁期第1回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	令和6年漁期第2回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	今漁期のイカナゴ漁について	令和6年漁期第3回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	有害赤潮プランクトンの出現動態監視及び予察技術開発並びに赤潮の発生段階に応じた一連の対策(行動計画)の検討・策定 瀬戸内海東部海域	令和5年度豊かな漁場環境推進事業のうち赤潮等による漁業被害対策技術の開発・実証・高度化結果検討会	秋山 諭・辻村裕紀・近藤 健・山本圭吾・妹背秀和・肥後翔太・宮原一隆・高木秀蔵・乾 元気・角田成美・石黒貴裕・朝田健斗・岡本裕太・棚田教生・池脇義弘・小川健太・松下悠介・中谷祐介・三宅陽一・坂本節子	水産環境部ほか
R 6. 2	播磨灘における 50 か年の植物プランクトンの長期変動	R5 水産庁事業「豊かな漁場環境推進事業(栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化)」のうち「瀬戸内海」課題担当者年度末検討会	肥後翔太	水産環境部
R 6. 2	2023 年マダコ遊漁実態の把握に関する調査報告	明石市漁業組合連合会事務局	堀部倭子	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 6. 2	兵庫県瀬戸内海海域におけるマダコ不漁要因の解明に向けて	R5 水産庁事業「豊かな漁場環境推進事業（栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化）」のうち「瀬戸内海」課題担当者年度末検討会	堀部倭子	水産環境部
R 6. 2	漁業調査船たじまの夏季トロール調査におけるスルメイカの混獲	令和5年度日本海ブロック資源評価担当者会議	鈴木雅巳	但馬水技
R 6. 2	隠岐諸島北東に出現する暖水域の水塊特性	令和5年度日本海ブロック資源評価担当者会議	鈴木雅巳	但馬水技
R 6. 2	有害赤潮プランクトンの出現動態監視及び予察技術開発並びに赤潮の発生段階に応じた一連の対策（行動計画）の検討・策定 日本海西部海域	令和5年度豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業（1）赤潮等による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化結果検討会	鈴木雅巳・福本一彦・前田啓助・清川智之・古谷尚大・井口隆暉・白木信彦・鬼塚 剛・坂本節子	但馬水技ほか
R 6. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織・西川哲也	水産環境部
R 6. 3	兵庫県におけるタチウオ漁獲量等の経年推移（漁獲統計資料調査）	令和5年度タチウオ資源評価（中央・瀬戸内海合同）検討会	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	2023 年マダコ遊漁実態の把握に関する調査報告	明石市漁業組合連合会遊漁船業代表者部会事務局	堀部倭子	水産環境部
R 6. 3	マダコ不漁要因の解明に向けた研究の紹介	環境研究総合推進費戦略的研究開発課題（S-23）および水産庁委託事業豊かな漁場環境推進事業担当者会	堀部倭子	水産環境部
R 6. 3	兵庫県瀬戸内海の豊かな海づくり～天皇后両陛下御視察～	網走漁協	平石靖人	水産環境部
R 6. 3	海の環境・育てる漁業～日本海におけるズワイガニ資源に着目して～	2023～2024 年度国際ロータリー第 2680 地区但馬グループ INTERCITY MEETING	田村一樹	但馬水技

#### (5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 6	今漁期の問題点と今後の対応（瀬戸内地区）	全国海苔貝類漁業協同組合連合会（海苔タイムス 2460 号）	高倉良太・梶原慧太郎	水産増殖部
R 5. 7	ひょうごの新たな海の幸！？－播磨灘の「スダレガイ」－	西宮市貝類館（海辺からのたより第 29 号, p5-6 「紙上学習」）	堀部倭子	水産環境部
R 5. 10	来たる漁期の生産対策（瀬戸内地区）	全国海苔貝類漁業協同組合連合会（海苔タイムス 2471 号）	梶原慧太郎・高倉良太	水産増殖部
R 5. 11	特集 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター研究報告 ノリの食害研究～クロダイの行動から考える対策方法～	一般財団法人兵庫県水産振興基金（拓水 No. 805 号）	高倉良太	水産増殖部
R 5. 12	兵庫県播磨灘産マガキの貝毒調査と出荷自主規制機関の短縮	一般財団法人兵庫県水産振興基金（拓水 No. 806 号）	妹背秀和	水産環境部



## (6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	堀部倭子	水産環境部
漁場環境情報	12	肥後翔太・妹背秀和	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 (播磨灘)	7	西川哲也	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 (大阪湾・紀伊水道)	3	魚住香織	水産環境部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	魚住香織	水産環境部
イカナゴシンコ漁況予報	1	魚住香織	水産環境部
水温観測情報	52	中桐 栄	水産環境部
貝毒情報	42	中桐 栄・妹背秀和	水産環境部
赤潮情報	23	妹背秀和・中桐 栄	水産環境部
ノリ養殖環境速報 (播磨灘)	16	肥後翔太・妹背秀和・のり研究所	水産環境部、のり研究所
ノリ養殖環境速報 (大阪湾)	6	谷田圭亮・高倉良太・中桐 栄・のり研究所	水産増殖部、水産環境部、 のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・高倉良太・妹背秀和	水産増殖部、水産環境部
但馬水産技術センターだより			
海況情報	35	鈴木雅巳	但馬水技
漁況情報	45	鈴木雅巳・田村一樹・岸本早貴・大谷徹也・大野 晃平	但馬水技、但馬水産事務所
貝毒情報	5	鈴木雅巳・井筒樹兵	但馬水技、但馬水産事務所
漁況速報	52	鈴木雅巳	但馬水技
イカ漁況日報	149	鈴木雅巳	但馬水技

## (7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 7	リレー連載 持続的なカキ養殖経営への新技術 第2回マガキの麻痺性貝毒発生に伴う出荷自主規制の短縮 兵庫県播磨灘における新基準の設定と科学的根拠	アクアネット 2023年 7月号(Vol. 26 No. 7)	妹背秀和・植田進太郎・ 中桐 栄・宮原一隆・ 岩佐隆宏	水産環境部ほか
R 5. 10	総特集 近年の日本沿岸における赤潮：発生の特徴と新たな対策を考える 赤潮発生、予察、対策の現状：瀬戸内海東部	月刊海洋 2023年10 月号 Vol. 55, No10	小川健太・秋山 諭・ 妹背秀和・高木秀蔵・ 朝田健斗	水産環境部ほか

## (8) 技術書籍等

なし。

## (9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 4	ハタハタ記録的不漁	日本海新聞	大谷徹也	但馬水技
R 5. 4	泳ぐ姿にクギ付け 深海魚のタナカゲンゲ かに市場香住で展示	日本海新聞	大谷徹也	但馬水技
R 5. 5	サカナ新時代 養殖ノリ消失 「犯人」はチヌ	毎日新聞	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 5	サカナ新時代 下がらぬ水温 ノリ被害増	毎日新聞	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 5	サカナ新時代 海に異変 悲しきギャング	毎日新聞	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 6	漁獲量過去10年で最小 22年度沖合底びき網漁 金額は前年並み維持 ハタハタ不漁深刻	日本海新聞	大谷徹也	但馬水技
R 5. 8	ハタハタ漁低水準か 沖底漁試験操業 アカガレイも不調	日本海新聞	大谷徹也・岸本早貴	但馬水技

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 8	県但馬水産技術センターが試験操業 ハタハタ05年以降最低 過去10年平均の2割	神戸新聞	大谷徹也・岸本早貴	但馬水技
R 5. 9	規格外野菜でウニ成長水産技術センター研究の成果発表	神戸新聞	梶原慧太郎	水産増殖部
R 5. 10	来月6日解禁、ズワイガニ漁見通し 松葉ガニは前年並み	神戸新聞	田村一樹	但馬水技
R 5. 10	試験操業の結果発表 松葉ガニ例年並み	日本海新聞	田村一樹	但馬水技
R 5. 11	松葉ガニ「前年並み」	毎日新聞	田村一樹	但馬水技
R 5. 12	海の温暖化 冬の味覚に異変	神戸新聞	田村一樹	但馬水技
R 6. 1	シンコ漁、また不漁か	神戸新聞	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	シンコ不漁「最も厳しい」今季の県予報、8年連続	神戸新聞	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	イカナゴ新仔、資源低水準	水産経済新聞	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	大阪湾シンコ初の休漁	神戸新聞	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	シンコ漁大阪湾見送り～播磨灘は来月9日解禁～	読売新聞	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	イカナゴ記録的不漁予測 ～くぎ煮食卓から遠のく？～	読売新聞	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	春の味覚、イカナゴ漁解禁 播磨灘で～大阪湾は自主休漁～	共同通信社（岩手日報）	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	春の味覚、イカナゴ漁解禁 播磨灘で～大阪湾は自主休漁～	共同通信社（静岡新聞）	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	春の味覚、イカナゴ漁解禁 播磨灘で～大阪湾は自主休漁～	共同通信社（京都新聞）	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	春の味覚、イカナゴ漁解禁 播磨灘で～大阪湾は自主休漁～	共同通信社（佐賀新聞）	魚住香織	水産環境部
R 6. 3	春の味覚、イカナゴ漁解禁 播磨灘で～大阪湾は自主休漁～	共同通信社（沖縄タイムス）	魚住香織	水産環境部

#### (10) テレビ・ラジオ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 6	news ランナー 【ツイセキ】兵庫が20年ぶりに海苔の生産日本一 それなのに喜べない理由 生産者を悩ます魚による「食害」に「後継者不足」 国産のノリ生産量維持のためにさまざまな取り組み	関西テレビ	高倉良太	水産増殖部
R 5. 12	ひょうご発信！水産技術センターで兵庫の漁業を学ぼう ～イカナゴ資源の話～	サンテレビ	魚住香織	水産環境部
R 5. 12	当技術センターにおける小学生校外学習への取り組み	サンテレビ	平石靖人	水産環境部
R 6. 2	東播磨県民局情報番組「ひがタン！」「実はスゴイ！県民を陰で支える東播磨の研究施設」～春の味覚イカナゴについて～	BAN-BAN テレビ 明石ケーブルテレビ	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	瀬戸内に“春”告げるイカナゴ、8年連続「不漁」予測 2024年々、“ほぼ漁獲見込まれず”	ラジオ関西	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	news ランナー 春の風物詩がピンチ！大阪湾のイカナゴ漁 初の「禁漁」なぜ？	関西テレビ	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	NEWS×情報キャッチ+ シンコ漁大阪湾では見送り～播磨灘で3月9日解禁決定～	サンテレビ	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	Live Love ひょうご イカナゴ漁 大阪湾では初の対応～イカナゴ漁 大阪湾は休漁～	NHK	魚住香織	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 6. 2	Live Love ひょうご 春の訪れ告げるイカナゴ漁 播磨灘で解禁も・・・	NHK	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	News おかえり 不漁続く・・・播磨灘で何が？～イカナゴ漁きのう1日だけで終了～	朝日テレビ (ABC)	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	よんちゃん TV イカナゴ禁漁春の風物詩に非常事態 食卓に影響は？	大阪毎日テレビ	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	NEWS×情報キャッチ+ 今年は解禁初日に終了 “春の味覚” イカナゴ不漁のなぜ？	サンテレビ	魚住香織	水産環境部

### (11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 4	日本バイオロギング研究会会報 No. 200 調査報告「黒幕を追え!!ノリ養殖現場24時SeasonⅢ」	日本バイオロギング研究会	高倉良太	水産増殖部
R 5. 6	私の試験研究「有用特性を持つワカメ養殖株の作出」	兵庫県立農林水産技術総合センター	梶原慧太郎	水産増殖部
R 6. 1	シンコ漁、また不漁か	神戸新聞NEXT	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	瀬戸内に“春”告げるイカナゴ、8年連続「不漁」予測 2024年、“ほぼ漁獲見込まれず”	ラジオ関西トピックス	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	特集「春の年賀状」イカナゴがピンチ 大阪湾での「禁漁」が決まる。「漁獲を調整して資源を守る必要がある」	関西テレビNEWS	魚住香織	水産環境部
R 6. 2	今シーズンのイカナゴ漁 播磨灘は3月9日解禁 大阪湾では見送り	サンテレビNEWS	魚住香織	水産環境部

## 3 見学会及び研究発表会

### (1) 見学会

なし。

### (2) 研究発表会

#### ア 日 時

令和5年9月1日14時～16時

#### イ 場 所

2F 大研修室

#### ウ 課 題

香住から活ベニズワイガニをお届け！—無水輸送技術等による出荷の取組—

(発表者：但馬水産技術センター研究員 中村 匠)

兵庫県但馬沿岸域における規格外野菜を用いたムラサキウニの養殖方法

(発表者：水産技術センター水産増殖部職員 梶原慧太郎)

オニエビ (イバラモエビ) の種苗生産

(発表者：(公財) ひょうご豊かな海づくり協会淡路栽培漁業センター課長 吉川孝司)

ひょうごの新たな海の幸！？播磨灘の「スダレガイ」—利用拡大に向けた漁業生物学的知見の収集に関する調査研究—

(発表者：水産技術センター水産環境部職員 堀部倭子)

#### 4 特許・実用新案出願・登録状況

【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H21. 4. 3 H21. 5.18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	

発明（出願特許）の概要

発 明 の 名 称	発 明 の 概 要
養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。

#### 5 学位・表彰等

◎ 表 彰 名 職員表彰（農林水産部賞）

受賞者氏名 高倉良太

表 彰 日 令和5年6月28日

◎ 表 彰 名 日本水産学会 令和5年度水産学進歩賞

業 績 名 養殖海苔色落ち原因珪藻の大量発生機構と植物プランクトン群集の長期変動に関する研究

受賞者氏名 西川哲也

表 彰 日 令和6年3月29日

#### 6 研究員の派遣

なし。

#### 7 研修生・見学者の受け入れ

(1) 一般研修生の受け入れ

団体又は組織	人 数	研 修 課 題	期 間	受け入れ部門
東三河漁協青年部連絡協議会	13名	ノリ食害対策について	R 5. 7. 5	水産環境部、水産増殖部
摂津播磨地区漁業協同組合青年部連合会視察研修会	29名	兵庫県の栽培漁業について	R 5. 8.22	水産環境部、水産増殖部
瀬戸内未来ビジョンプロジェクトユースチーム（大学生等）	5名	兵庫県水産業について	R 5. 9. 1	水産環境部、水産増殖部
佐賀県議会佐賀空港・有明海対策等特別委員会	15名	兵庫県におけるノリ養殖等について	R 5.10.19	水産環境部、水産増殖部
静岡県浜松市議会自由民主党浜松	7名	クロダイによる食害の研究とその成果について	R 5.12.19	水産環境部、水産増殖部
丸亀市水産振興対策協議会役員研修会	7名	兵庫県の栽培漁業について	R 6. 3. 1	水産環境部、水産増殖部
神戸市立淡河小学校	12名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 5.11	漁業研修館

団体又は組織	人 数	研 修 課 題	期 間	受け入れ部門
明石市立二見西小学校	124名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6. 9	漁業研修館
神戸市立東舞子小学校	166名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.20	漁業研修館
神戸市立大池小学校	53名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.21	漁業研修館
神戸市立板宿小学校	73名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.26	漁業研修館
神戸市立小松小学校	104名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.28	漁業研修館
神戸市立本山南小学校	74名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.29	漁業研修館
神戸市立神の谷小学校	41名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.30	漁業研修館
神戸市立つつじヶ丘小学校	38名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 6.30	漁業研修館
神戸市立花山小学校	72名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 7. 3	漁業研修館
西宮市立段上西小学校	142名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 7.13	漁業研修館
西宮市立上甲子園小学校	137名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 7.14	漁業研修館
波の家 第6アスぺ	21名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 7.28	漁業研修館
大久保発達放課後センター	28名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 8. 8	漁業研修館
コープこうべ	18名	兵庫県豊かな海への取り組み	R 5. 8. 8	漁業研修館
富山県立滑川高等学校	2名	瀬戸内海における豊かな海への取り組み	R 5. 8.22	漁業研修館
放課後デイサービスいろえんびつ	30名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 8.23	漁業研修館
放課後等デイサービス color 西二見	29名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 8.24	漁業研修館
神戸情報大学院大学	8名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 8.28	漁業研修館
神戸市立美賀多台小学校	58名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9. 8	漁業研修館
神戸市立若草小学校	58名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9.19	漁業研修館
株式会社ノーリツ	8名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9.19	漁業研修館
明石市立谷八木小学校	135名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9.21	漁業研修館
神戸市立和田岬小学校	50名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9.22	漁業研修館
神戸市立出合小学校	87名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9.28	漁業研修館
神戸市立玉津第一小学校	101名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5. 9.29	漁業研修館
神戸市立美野丘小学校	98名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10. 2	漁業研修館
神戸市立檜野台小学校	64名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10. 5	漁業研修館
明石市立沢池小学校	160名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10. 6	漁業研修館
明石市おさかな普及協議会	40名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10. 9	漁業研修館
神戸市立東町小学校	122名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10.12	漁業研修館
明石市立貴崎小学校	50名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10.13	漁業研修館
神戸市立平野小学校	33名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10.19	漁業研修館
明石市立二見小学校	67名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10.20	漁業研修館
西宮市立安井小学校	85名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.10.24	漁業研修館
西宮市立甲陽園小学校	162名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11. 6	漁業研修館
公益社団法人日本技術士会 近畿本部兵庫県支部	20名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.14	漁業研修館
百合学院小学校	16名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.15	漁業研修館
神戸市シルバーカレッジ生 活環境コース第29期生	5名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.15	漁業研修館
神戸市立妙法寺小学校	91名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.16	漁業研修館
小野市立来住小学校	29名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.21	漁業研修館
神戸市立高和小学校A	108名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.22	漁業研修館
神戸市立桜の宮小学校	35名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.24	漁業研修館
神戸市立ありの台小学校	53名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.27	漁業研修館
瀬戸内海環境保全協会	20名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.27	漁業研修館
神戸市立北須磨小学校	73名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.29	漁業研修館
神戸市立小部東小学校	76名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.30	漁業研修館
神戸市立多聞東小学校	47名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.11.30	漁業研修館
神戸市立塩屋北小学校	62名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.12. 1	漁業研修館
西宮市立樋ノ口小学校	164名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.12. 5	漁業研修館

団体又は組織	人数	研修課題	期間	受け入れ部門
神戸市立小東山小学校	183名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.12. 8	漁業研修館
和楽会	10名	兵庫県水産業の現状と課題	R 5.12.12	漁業研修館
いなみの学園	4名	兵庫県水産業の現状と課題	R 6. 1. 9	漁業研修館
明石市立二見中学校	34名	兵庫県水産業の現状と課題	R 6. 1.18	漁業研修館
網走漁業協同組合	11名	兵庫県水産業の現状と課題	R 6. 3. 7	漁業研修館
いろは児童通所支援	16名	兵庫県水産業の現状と課題	R 6. 3.25	漁業研修館
養父市立広谷小学校	35名	環境体験学習	R 5. 6.13	内水面
朝来市立山口こども園	19名	環境体験学習	R 5. 6.20	内水面
朝来市立中川こども園	36名	環境体験学習	R 5. 7. 4	内水面
県立やまびこの郷	22名	環境体験学習	R 5. 7. 4	内水面
朝来市立山口小学校PTA	42名	環境体験学習	R 5. 7.31	内水面
朝来市子育て学習センター	18名	環境体験学習	R 5. 8. 4	内水面
朝来市ルーチェの会	18名	環境体験学習	R 5. 8. 7	内水面
朝来市立枚田小学校	2名	社会体験研修	R 5. 8.22	内水面
朝来市かのんデイサービス	17名	環境体験学習	R 5. 8.22	内水面
朝来市立大蔵小学校	22名	採卵実習	R 5.10.24	内水面
加工業者	1名	カニ身乾燥試験	R 5. 4.17	但馬水技（加工実験棟）
東洋食品工業短期大学	3名	ホタルイカ茹で加工試験	R 5. 5.20	但馬水技（加工実験棟）
農林水産技術総合センターほか	4名	普及指導員技術強化II研修	R 5.10.25	但馬水技（技術研修室、加工実験棟、利用加工研究室）
兵庫県漁業協同組合連合会 但馬支所、但馬水産事務所	5名	ベニズワイガニ黒変防止試験	R 5.12.12、 12.20	但馬水技（加工実験棟）
兵庫県漁業協同組合連合会 但馬支所、但馬水産事務所ほか	6名	ベニズワイガニ品質評価	R 6. 1.11～ 1.12	但馬水技（現地）
浜坂漁業協同組合、但馬水産事務所	2名	ウニ醤油加工試験	R 6. 2.15～ 2.16	但馬水技（加工実験棟）
兵庫県漁業協同組合連合会 但馬支所、但馬水産事務所ほか	6名	ベニズワイガニ品質評価	R 6. 2.15～ 2.16	但馬水技（現地）
浜坂漁業協同組合、但馬水産事務所ほか	10名	冷凍ホタルイカ官能試験	R 6. 3. 5	但馬水技（現地）

## (2) トライやる・ウィーク体験事業

学校名	研修課題	期間	受け入れ部門
朝来市立朝来中学校5名	飼育水槽・人工河川・取水柵の掃除、飼育魚への給餌、加工実習	R 5. 5.29 ～ 6. 1	内水面
明石市立、朝霧・大蔵・衣川・二見中学校 各1名 計4名	魚類飼育、環境測定実習、各種研究実験実習、各種展示施設設営、見学者説明実習等	R 5. 6. 3 ～ 6. 7	漁業研修館、水産環境部、水産増殖部

## (3) 高等学校探究課題への協力

学校名	研修課題	期間	受け入れ部門
県立赤穂高校10名	兵庫県のマガキ養殖及び資源管理等に関する講座	R 5. 6.27	水産増殖部、水産環境部
県立明石城西高校4名	兵庫県の水産の現状や課題について	R 5. 8. 4	水産環境部、水産増殖部
県立加古川東高校4名	兵庫県のイカナゴ減少等について	R 5. 8.31	水産環境部

(4) 受託研修・国際課からの依頼による研修の受け入れ  
なし。

(5) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 5. 4	3	10	2	8	0	0
5	9	32	0	28	0	4
6	18	678	13	660	5	0
7	17	388	13	372	0	3
8	25	192	30	143	0	19
9	11	466	3	456	0	7
10	12	656	0	638	0	18
11	19	727	0	684	0	43
12	7	405	0	392	7	6
R 6. 1	3	38	0	27	0	11
2	0	0	0	0	0	0
3	2	23	11	12	0	0
合計	126	3,615	72	3,420	12	111

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 5. 4	10	27	2	6	0	19
5	5	10	0	0	0	10
6	8	14	0	4	0	10
7	7	30	0	0	6	24
8	14	34	1	0	0	33
9	10	18	0	0	2	16
10	9	19	1	0	2	16
11	5	19	14	0	3	2
12	2	2	0	0	0	2
R 6. 1	2	5	0	0	0	5
2	3	5	0	0	0	5
3	4	11	0	0	2	9
合計	79	194	18	10	15	151

【但馬水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 5. 4	1	2	0	0	0	2
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	4	44	0	33	11	0
8	1	1	0	1	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	1	14	0	0	14	0
R 6. 1	0	0	0	0	0	0
2	1	20	0	0	20	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	8	81	0	34	45	2

【但馬水産技術センター】(加工流通部門担当分)

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 5. 4	5	5	3	0	1	1
5	1	3	0	0	3	0
6	3	4	2	0	2	0
7	8	11	11	0	0	0
8	1	1	0	0	0	1
9	0	0	0	0	0	0
10	5	8	4	0	4	0
11	3	3	1	0	2	0
12	3	6	2	0	3	1
R 6. 1	1	8	3	0	3	2
2	3	10	5	0	3	2
3	0	4	1	0	2	1
合計	33	63	32	0	23	8

(加工相談のうち来訪分)

8 資格・認定研修への講師派遣

なし。

9 その他 (出版物等)

・令和4年度 兵庫県農林水産技術総合センター年報 (水産編)

